

秋田県TPP農業関連対策大綱(案)の策定について

関連予算額 301億円(うち新規・拡充 124億円)
〔27補正予算 91億円、28当初予算 210億円〕

平成28年2月29日
農林水産分科会提出資料
(当日配布)

I 構造改革の加速化

1 農業分野

【予算額 180.6億円(うち新規・拡充100.4億円)】

(1) 担い手対策

『地域農業を牽引する担い手育成と多様なルートからの新規就農者の確保』

- 優れた経営感覚を備えた担い手の確保・育成(ワンストップ体制の強化/経営の複合化や多角化の促進/経営マネジメント能力の向上/女性のチャレンジ支援等)
- 次代を担う後継者の育成(県内外の若者を就農させ育成するシステムの構築)

<主要事業> 農地中間管理総合対策事業/農業経営発展加速化支援事業/新規就農総合対策事業/【新規】移住就農まるごと支援事業 等

『販売拠点を核とする中小規模農家の所得向上』

- JAによる中小規模農家も含めた販売ルートの多様化と生産振興
- 家族農業の多様なビジネス育成(多品目少量生産・多元販売等)
- 直売所等を拠点とした販売・交流活動の強化

<主要事業> JA販売力強化オリジナルプラン支援事業/未来にアタック農業夢プラン応援事業/農業者等販売力強化チャレンジ事業 等

(2) 生産振興対策 『複合型生産構造への転換の加速化と秋田米の競争力強化』

- 大規模園芸拠点の全県展開(メガ・ネットワーク団地等の整備/労働力調整システムの構築等)
- 秋田牛、銘柄豚、比内地鶏など県産畜産物のブランド化と生産拡大(秋田牛の首都圏展開、大規模畜産団地の整備、飼料用米の地域内流通の拡大等)
- 多様な6次産業化の推進(異業種との連携、JAによる大規模な6次産業化)
- 実需者等のニーズに対応した米品種ラインナップ(極上米、寿司用米、新形質米等)
- オール秋田での米の品質区分集荷等による商品づくり、大規模・低コスト稲作経営の確立

<主要事業> 園芸メガ団地育成事業/【新規】ネットワーク型園芸拠点育成事業/秋田県産牛ブランド確立推進事業/未来にアタック農業夢プラン応援事業/【拡充】6次産業化総合支援事業/【新規】ゴハンといえば秋田米推進事業 等

(3) 生産基盤対策 『構造改革を支える水田の大区画化・畑地化』

- 稲作の低コスト化や経営の複合化を可能とする基盤整備の推進(大区画化、地下かんがいシステム、モミガラ補助暗渠等)

<主要事業> 【拡充】農地集積加速化基盤整備事業/【新規】水田畑地化基盤整備事業 等

2 林業分野

【予算額 38.8億円(うち新規・拡充4.2億円)】

(1) 担い手対策 『高い技術と知識を持った若い担い手の確保・育成』

- 林業大学校を核とした若い林業技術者の養成
- 県内高校性を対象にした林業体験の実施

<主要事業> 「オール秋田で育てる」林業トッパー養成事業/【新規】秋田の林業就業促進事業/森林・就業雇用総合対策事業 等

(2) 生産振興対策 『「ウッドファーストあきた」の推進による県産木材の需要喚起』

- 木材を優先的に活用する県民運動の展開(木材利用ポイント制度/公共施設等の木造化・木質化/木質バイオマスの利用促進等)
- CLT等の新たな建築資材の活用促進(モデル建築物の実証展示/県有施設での利用検討)

<主要事業> 【拡充】ウッドファーストあきた林業雇用拡大事業/【新規】オリンピック・パラリンピック関連秋田材促進事業 等

(3) 生産基盤対策 『川上から川下まで一体となった競争力の高い木材生産体制の整備』

- 原木の低コスト生産・安定供給体制の整備(間伐等の集約化/林内路網整備/再造林促進等)
- 製材・合板等の木材加工流通施設の整備

<主要事業> 造林事業/林道事業/林業・木材産業構造改革事業 等

3 水産業分野

【予算額 13.9億円(うち新規・拡充11.6億円)】

(1) 担い手対策 『漁村地域の将来を担う新規就業者の確保』

- 漁業体験学習や技術研修、漁船導入等の支援による担い手の確保
- <主要事業> 【新規】秋田の漁業がんばる担い手確保育成事業 等

(2) 生産振興対策 『地魚の高付加価値化と販路開拓への支援』

- 産地一体となって取り組むブランド化や加工等による高付加価値化の推進
- <主要事業> 【新規】秋田の水産業モデル創出支援事業 等

(3) 生産基盤対策 『つくり育てる漁業を核とした生産基盤の整備』

- 最新技術を導入した栽培漁業施設の整備と生産性の高い漁場の整備
- <主要事業> 【拡充】水産振興センター栽培漁業施設整備事業/水産環境整備事業 等

4 輸出を含めた流通販売対策

【予算額 1.6億円(うち新規1.3億円)】

- 農業法人やJAの販路拡大に向けた主体的な取組の促進
- 県民総ぐるみによる県産農林水産物応援気運の醸成(地産地消、食育推進、メディアとの連携)
- 首都圏等での多彩で効果的なプロモーション活動の強化(社食・学食など多様なチャネルの活用、高機能住宅への県産材活用推進、地魚の活け締めや産地タグによる差別化等)
- 秋田の強みを生かした農林水産物の輸出拡大(農業：販路を持つ企業との連携、林業：秋田スギブランドの世界発信等)

<主要事業> 【新規】I Love秋田産推進事業/【新規】You Love秋田産推進事業/県産農産物流通販売戦略推進事業/【新規】「秋田スギがスキ!」ウッドファーストあきた加速化事業 等

5 地域を活かす中山間地対策

【予算額 7.0億円(うち拡充6.8億円)】

- 地域資源を活用したアグリビジネスの展開(伝統野菜、清流米等高付加価値農業)
- 条件不利地域の農業を支え発展する経営体の育成(JA出資型農業法人の育成等)

<主要事業> 【拡充】元気な中山間農業応援事業/【拡充】農業法人経営発展支援事業 等

II 経営安定対策等

1 国の対策

- 政府備蓄米の運営見直し
- 畜産・酪農を含めた経営安定対策の充実(法制化や補填率の見直し等)

2 県の対策【予算額 59.7億円】

- 多面的機能、地域コミュニティの維持・強化
- 各種制度資金を活用した経営のフォローアップ(経営発展への投資や運転資金)
- 災害復旧などに対応するセーフティネットの整備
- 青果物・花きの価格補償制度

<主要事業> 日本型直接支払交付金事業/農業近代化資金等対策事業/農業・漁業経営フォローアップ資金預託金貸付事業/木材産業等高度化推進事業/青果物・花き価格安定対策事業/肉用牛肥育経営維持拡大対策事業 等